

「遠隔医療の展望 分野横断的な協力体制による遠隔医療の発展をめざして」

第1回 過去の経験・事例からみた遠隔医療発展への問題点

遠隔医療は、昨今の医療・福祉従事者の不足など厳しい環境の中で、再び脚光を浴びてきているように見えます。しかしながら、遠隔医療の発展には、なお多くの解決すべき課題があり、実際、これまでわが国で試行された遠隔医療の企画のほとんどが継続されておりません。これには、遠隔医療の有効的活用、標準化や情報共有化など医療分野の新しい問題と密接な関係があり、さらに医療システムの再構築という新たな社会的基盤の整備の必要性とも関連しています。そのために、従来の医療・福祉系、理工系のほかに社会学、経済学など幅広い分野の知識を結集することが不可欠と考えております。本セミナーは、このような多分野横断的な視点から、遠隔医療の発展に関する諸問題を討論する場として企画されました。

第1回は、その先鞭として、自験例や国内外の事例から過去の遠隔医療企画を紹介し、問題点を浮き彫りにする内容としました。2回目以降、医療分野以外のテーマも取り上げてまいりますので、関心のある方には、積極的にご参加いただきますようお願い申し上げます。

日 時： 平成20年9月29日(月)19時～21時

場 所： 慶應義塾大学三田キャンパス 東館4F  
グローバルセキュリティ研究所(G-SEC)セミナー室  
<http://www.keio.ac.jp/access.html>

- 議 題： 1. 過去の遠隔医療経験例の紹介とその問題点  
慶應義塾大学医学部 本間 聡起
2. 過去の事例から見た遠隔医療の成功例&失敗例  
国際医療福祉大学 長谷川高志
3. 討論

会 費： 無 料(当日御記帳をお願いいたします)

主催：  
慶應義塾大学グローバルセキュリティ研究所(G-SEC)  
「先端情報技術の活用による医学・医療ユビキタスプロジェクト」  
慶應義塾大学医学部東京電力先端医療科学・環境予防医学寄附講座

代表幹事：慶應義塾大学医学部 特別研究准教授  
慶應義塾大学グローバルセキュリティ研究所  
上席研究員 本間聡起  
幹事：長谷川高志、大野実、奥村政彦、兵藤郷